

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第4学年

【題材名】 学級活動(3)ア 「4年生になって」 (1時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動することができるようにする。

【主な学習活動と留意点】

前学年からのつながり：3年生までの学びや成長の様子を認めながら、本題材を設定する。

周囲の方とのつながり：担任、保護者、友だちとのつながりを意識させながら、本題材を設定する。

働かせる見方・考え方：自己の問題を捉え、自己の実現に向けた実践に結び付けること。

段階	学習活動 (時間)	留意点
つかむ	<b>問題の発見・確認 (事前)</b> ・3年生を振り返るアンケート ・なりたい4年生アンケート	<b>題材への関心を高め、課題を意識化する場面</b> ☞3年生での経験や努力したことを振り返る場面をつくる。 ☞4年次の学習内容や行事等を分かるようにしておく。
	題材：『なりたい自分』に近づくために、どのようなめあてにすればいいか考えよう	
さぐる	<b>解決方法の話合い (0.8)</b> ・学校教育目標を再確認する ・担任のねがいを聞く ・保護者の思いを知る	<b>「なりたい自分」について、自己の可能性を探る場面</b> ☞目指したい学級生活やそうした学級生活を実現するためにどんなことに取り組んだらよいか話し合うようにする。 ・学校目標、担任の方針を具体的に話す場面を設定する。 ・どのようなめあてにしたらよいかグループで話し合う。 ☞実践可能な具体的なめあてや実践方法などについて意思決定する。(めあてカードに記入する) ・めあてを立てるのが難しい児童に個別に声かけをする。
見つける	<b>解決方法の決定 (0.2)</b>	
決める	<b>決めたことの実践 (事後)</b>	
実践する	<b>振り返り (帰りの会)</b>	<b>実践 → 振り返り</b> ☞自分のめあてに合わせて一週間ほど実践する。 ・必要に応じて新たにめあてを立てて取り組んでもよいことを助言する。 ・友達同士で励まし合いながら、実践を確認し合う。 ・定期的な振り返りをして、一人一人の頑張りを認め合う。

次題材へのつながり：学級活動(3)ア 「一学期を振り返って」 へつなげる。